

# 広報

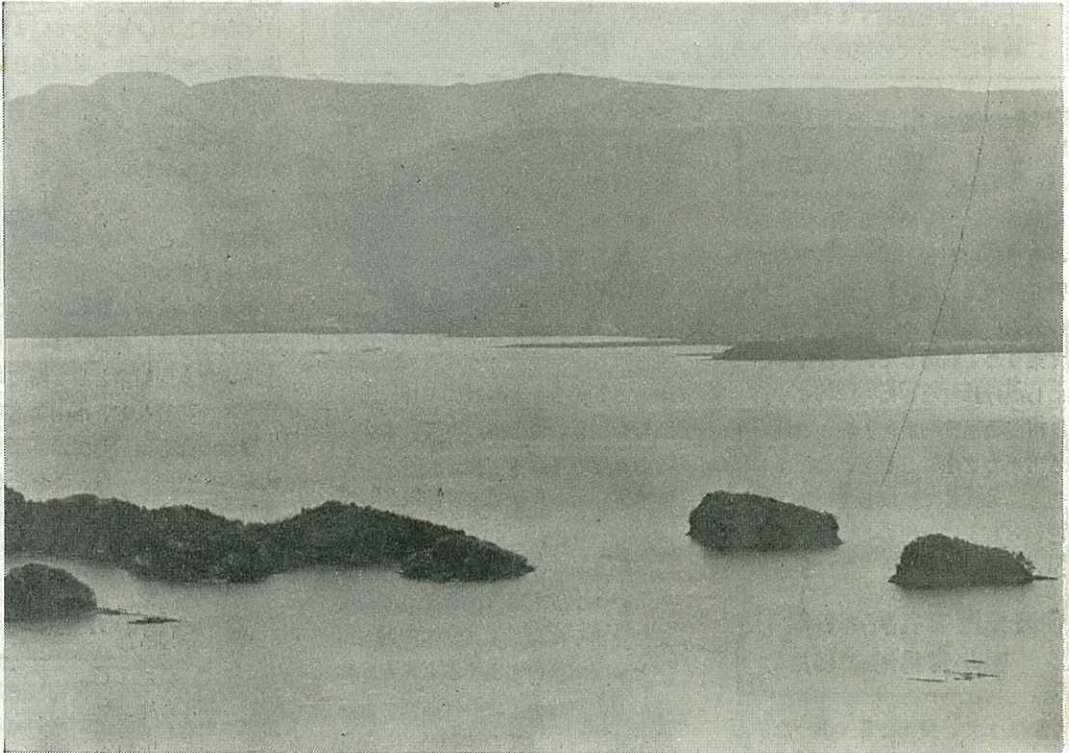
# いまり

市の人口  
 12月1日現在  
 総人口 66,410人  
 男 31,269人  
 女 35,141人  
 世帯数 15,434世帯

昭和29年8月19日  
 第3種郵便物認可

○毎月1日発行 定価1部5円 昭和43年1月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 165



（福島町城ノ越山から山代町をのぞむ）

明けましておめでとうございます

—— 総合開発のための調査をまつ伊万里湾 ——

広報こよみ

1日・20日 交通安全の日

4日 執務はじめ

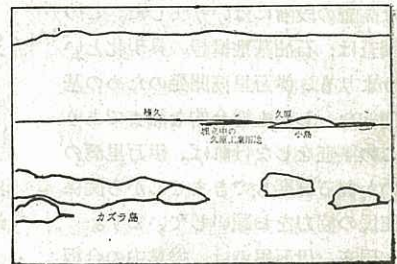
9日 西部地区学校給食センター開  
 所

11日・25日 交通事故相談日

15日 成人の日

19日 無料法律相談日

20日 文部省委嘱松浦婦人学級



伊万里市は交通安全宣言都市です

アッ危ぶない そのスピードが死を招く

1月

# 駅南開発など大事業と取り組む

山口市長 市民の理解と協力を要請  
年頭に当たり

ことしの伊万里市政は、災害復旧をはじめ、大きな事業をめじろおしにかかえています。ことしは、これらの事業の遂行いかによっては、郷土の将来を左右する転機になると考え、山口市長は、これらの重点事業についての決意を次のようにのべました。

## 苦難の道は市民の団結で 乗りこえたい

わたくしたち伊万里市民は、昨年みぞうの水害と干ばつ、二重の大災害を受けました。ことしは、これらの災害に起因する苦難の道を団結して乗りこえ前進していく決意を新たにしなければならぬと思います。

市民の福祉向上を最終の目的とする市政の責任者として、わたくしは皆さんの代表で構成している市議会といっしょに市民のご協力を受けながら着実に前進する考えです。

## 伊万里港を名実ともに 国際貿易港にしたい

いままで、長年の夢であった伊万里湾総合開発は、いよいよ、本格的な調査の段階にはいりました。この調査は、石油基地構想の具現化というよりも、伊万里湾開発のための基礎的な、しかも総合的な調査であり、この調査をしなければ、伊万里湾のいかなる開発もできませんから関係住民の協力をお願いしています。

現在、伊万里港は、操業中の合板

企業の港湾利用だけでも手ぜまになっているため、その整備事業が急ピッチで進められています。



ことしから5か年計画で18億円の巨費を投ずることになっています。ことしは、1万トン岸壁や二つめの貯木場などが継続事業で建設されます。

昨年6月の開港指定に続いて、輸入木材特定港・出入国管理港の指定を受けました。こんご、検疫港の指定と税関施設の充実や海上保安庁施設などの誘致ができれば名実ともに国際貿易港としての体制がととのうこととなります。

## 災害復旧事業は ことしの最重点事業

昨年の水害・干害の復旧対策事業は、2年目を迎え、ことしの市政の最も大きな重点事業になります。

水害復旧のなかでも伊万里川の改

修は、将来の都市改造につながる大きな問題ですが、地域住民の生命・財産を災害から守るために全力をあげて対処したいと考えています。改修に伴って土地・家屋の移転などの問題がでてきますが、そういう関係者のご理解とご協力がなければこの問題は解決しません。

移転先のあっせん・土地家屋・営業の補償などについて、市民の立場にたって協力するつもりです。

伊万里川改修と関連する治水のためだけでなく、異常干ばつに備える水利の根本的対策として龍門ダムや牧ダムの建設など、市内のあらゆる水資源開発も検討しております。このうち、龍門ダムは、ことしから実施設計にはいります。

## 駅南開発は 都市改造のカギになる

海の伊万里湾総合開発に対応して地域発展を図るため駅南開発と取り組みます。この開発は、マスタープランの一つの柱となるものです。

ことしは、国道202号線伊万里バイパス線や駅南地区土地区画整理事業・バイパス線への取り付け道路・立花台地開発事業など、都心部の拡大を伴う近代的都市大改造のカギでもある一連の事業と取り組まねばなりません。

もわからぬようになるのではないかとあやぶまれる。◆無差別というのは、どこやらの爆撃だけでなく、決して世の中に幸福をもたらすゆえんのものではない。ちゃんときじめをつけて初めて人の世にふさわしい秩序も生まれてくる。そういう意味から、お正月は、生活にけじめを与え、最高の贈り物であると思う。◆昔は、一年のなかのけじめを、「暑さ寒さも彼岸まで」といつて春と秋の彼岸でつけていた。ところが、夏のクーラー冬のヒーターで、年中、小春びよりの生活ができるようになった。もはや彼岸は、季節にけじめをつける力を失って来た。幸い、お正月だけは、まだ、わたくしたちの生活にはつきりしたけじめを与えている。お正月だけは、でい酢やスーパレジャーの妙な意味のけじめにたくないものだ。「一年の計は元且にあり」といわれるようにに自分をふりかえり、そして、次の飛躍に備える正しい意味の自己にけじめをつける日にしたいものである。

立花台地開発は、マスタープランの一環となる市全体を考えた土地利用計画のなかで、公共用地など公共性の高い事業を予定しています。

バイパス線と関連して佐世保との直結をねらう国見峠経由の道路も、西九州の流通経済や観光面で重要な役割りを果たすことから、広域的行政経済の立場で早く実現するよう関係機関へ要請します。

また、懸案である市庁舎の位置は現在、建設審議会に諮問していますが、ことし、できるだけ早い時期に結論を見出すことにしています。

工業用地造成も

始める

新建材工業都市をめざして、はや5年目を迎えました。誘致木材企業も5社が操業し、ことしは、なお2社が操業を始める予定です。

したがって、これに伴い関連企業の進出も予想され、国道204号線にそった山代・東山代地区の工業用地適地の造成を始めることにしています。

無料法律相談

▶1月19日(金)10時~15時

▶場所 市民相談室

1月の交通事故相談は...

▶11日と25日です。

▶10時から15時までに市民相談室へおいでください。

◆世の中が進み、時間と空間が短縮されてくると、だんだん、ものごとの「けじめ」がなくなってくるように感じられる。たとえば、「温室もの」がなんでも出まわってくと、「初物を食べれば七十五日長生きする」という初物へのありがたみもなくなり、季節的な味覚への愛着も薄らいでしまう。

遊ぎでおとしよりを慰める

伊万里保育園の園児140人が、年末に、井



手園長や育友会役員につきそわれて、県立向陽園を慰問しました。ことしで6目になります。

福田幸太郎さん(93歳)ら94人のおとしよりは角兵衛獅子・月の砂漠白虎隊・黒田武士などの園児のかわいい遊ぎをみて、楽しい時間をすごしました。

水害融資金の

返還延期を要請

ようやく水害から立ち上がった商店街は、ことしから融資の返還期にはいらいます。しかし、市も大幅の税減収になり、農家も干害で苦勞されているということを考えると購買力の面でかなりの影響があると考えられ、商店街の経営は、きびしい試練にたつことが予想されます。

市は、融資返還金の延期を強力に政府関係機関へ働きかけます。

商店街のかたも、自身で流通機構の改善などによる体質改善を図り、購買力をそそるような魅力のある商店街にころもがえをお願いしたいと思います。

事業を成功させるため

機構改革を断行

市は、災害復旧やその根本的対策のための事業だけでなく、昨年から引きついだ困難な懸案事業もかかえ

ており、これらを遂行する体制を確立するために、ちかく機構改革を断行します。

郷土の繁栄は

約束されている

市民の皆さん、ことしは、皆さんのご家庭でもかってない苦しい試練の年であろうと思います。

しかし、市からの人口流出は激減し、反面、工業生産額は42年の44億円に対して、ことしは80億円になろうとするなど、伊万里市は基本的には発展の要素を多くもっております。これからは、県内のみならず九州のホープとして伸びることを約束されています。

希望をもって、ことしの困難な時期を乗り切ってください。

市民の皆さん、市が財政的に苦しく、また、いろいろな不利な条件をもちながらも、郷土の繁栄を約束して取り組もうとしている大事業の推進のためにご理解とご協力をお願いします。



# 干害農家の市民税など減免

## 災害復旧事業など2億円を追加

第4回定例市議会が12月11日から15日間開かれました。

こんどの議会は、災害関係中心の補正予算や、昭和41年度各会計の決算認定・立花台地開発事業・干害農家に対する市税の減免条例など53件を審議可決しました。

◎ 昨年の干ばつ時の被害者に対して市民税と国民健康保険税を被害のいどで減額や免除することになりました。

平年の農作物収入額の3割以上の被害を受けた納税義務者に対して、市民税の所得割額と国民健康保険税を減免するものです。

しかし、合計所得金額が130万円をこえるかたや農業以外の所得が60万円以上のかたは対象になりません

合計所得金額	減免の割合
40万円以下のかた	全部
60万円 "	10分の8
80万円	10分の6
120万円	10分の4
120万をこえるかた	10分の2

◎ 脇田川(2,150m)・志佐川(1,253m)・屋敷野川(426m)・吉野川(370m)・伊万里川(180m)・権現川(437m)・牧川(680m)・越峰川(351m)・杏子川(1,087m)を県営で改修するため、県知事から2級河川指定について、意見を求め

### 記事訂正

本紙前月号No.164の7頁「有料駐車場できる」の記事で「郵便局あと地を駐車場にしたいと郵政省に借地申請をだしていたがその認可がおりた」と掲載しましたが、まだ認可がおりず、現在申請中とのことであり訂正します。

られていましたが、公益上支障ないと認めました。

最終日に、議会議案として、三つの意見書案・決議案が提出され、二つが可決され、一つは否決されました。可決されたものは、政府や関係機関へ、市議会の名で提出されます。

### 国鉄納付金廃止反対についての意見書(可決)

国鉄納付金が、国鉄の経営改善を理由に廃止されようとしているが、市町村財政に影響するだけでなく、固定資産税と交付金・納付金制度の仕組みを乱すことにもなるので、廃止しないよう要望する。

### 衆議院参議院石炭対策特別委員会の継続設置要望に関する決議(可決)

石炭対策特別委員会の活動は、石炭産業の安定と産炭地振興に絶対不可欠の機関であり、この委員会を継続設置するよう要望する。

### 国鉄松浦線・筑肥線合理化について決議(否決)

松浦線・筑肥線の合理化について住民の生命・財産の安全を守る立場から次のように決議する。

・浦ノ崎駅は列車扱いになっているが、中学生・高校生・通勤者の乗降が多いので、列車進入・乗降時の危険を考え、もとの通りにされたい  
・中井樋と旧伊高への道路にある踏切が無人化になる計画のようだが通

行の人・車が危険であり、バイパス線への取り付け道路完成まで、この工事を延期されたい。

この決議案は、駅員・車掌の監視で危険はない・踏切りが無人化されても危険は少いということで否決になりました。

補正予算は、一般会計で2億89万円・特別会計で323万円を追加しました。

このほか、新たに1億4,742万円を計上した立花台地開発特別会計予算を設けました。

## 水害被災中小企業者のために 利子補給金・出捐金 671 万円追加

一般会計補正は、災害復旧費がおもなものです。追加計上したおもなものは次のとおりです。

- 昨年干ばつ時の給水運搬車の借上料113万円やボーリング工事費73万円など給水対策に352万円
- ため池新設調査設計委託料や水源調査補助金など干害応急対策に288万円
- 12月上旬から始めた9か所分の救農土木事業に1,567万円
- 農林天災融資利子補給金に86万円
- 農地災害復旧36か所分に2,721万円
- 農業用施設災害復旧61か所分1億4,923万円
- 林道災害復旧に169万円
- 河川災害復旧7か所分138万円
- 社会教育施設災害復旧に49万円
- 水害被災中小企業者に対する復旧資金利子補給金や県信用保証協会出捐金に671万円
- 飼料作物増産事業費として南波多農協へ108万円
- 林業構造改善事業に182万円

- 短距離林道建設費として頭無線米の山線工事費に156万円
  - 市職員の給料・諸手当に1,640万円
  - 市役所車庫増築工事などに143万円
  - 久原工業用地13万平方メートルの造成費の負担金に851万円
  - 危険ボタ処理事業負担金198万円
  - 港湾道路負担金に350万円
  - 市街地とその周辺の図面作成や駅南地区都市計画設計委託料などに285万円
  - 保育所関係に1,031万円
  - 身体障害者扶助費など106万円
  - 霊きょう車購入や大川町集団赤痢発生に伴う経費などに224万円
  - 山代・松浦・波多津の50トンし尿貯り槽建設など補助金に89万円
  - 退職消防団員報償金の掛金に177万円
  - 小中学校給水工事で教育奨励振興基金に82万円
  - 年末から来年3月末にかけて資金ぐりのために借入金する一時借入金の利息に300万円
- 減額したもののうち大きな事業は辺地対策事業1,000万円と道路新設補助対象事業の認承減によるもの1,483万円などがあります。

こんど追加した各事業の財源として、次のようなものを当てています

国庫支出金 8,755万円・地方交付税 6,615万円・災害関係分担金負担金4,547万円・県支出金1,221万円・産炭地公共事業国庫負担金500万円臨時地方財政交付金242万円・市たばこ消費税200万円・特別とんじょうよ税100万円

特別とんじょうよ税は、開港に伴って入港する外国貿易船の純1トン当たり20円の割合いで交付されるものです。入港船がふえるほどじょうよ税も多くはいることとなります。

## 立花台地開発事業特別会計を新設……1億4,742万円

立花台地開発事業特別会計を設けました。

台帳面積21万3,306平方メートルにおよぶ大学設置推進委員会名義の旧伊万里工大敷地は、現時点では大学建設のみこみがないため、このま

ま放任すれば、敷地建物購入時に借入した分の利息が莫大な額にのぼります。そのため、将来公共用地として利用できるように市有財産として確保し開発しようというのがねらいです。特別会計では、大学設置推進委員会から土地を1億250万円・建物を4,000万円で購入するなど、その他の管理諸経費あわせて1億4,742万円を計上しました。



波多津漁業協同組合（水尾今朝治組合長）は、波多津町煤屋の海岸に漁業構造改善事業の一つとして、真珠玉入れ作業場を建設、こん月落成式を行ないます。

この作業場は、30人が玉入れなどの作業をする施術室や休憩室などをもつ木造・セメント瓦ぶき・平家建ての建物（135平方メートル）です

事業費は、国県が172万円・市が30万円を補助し、組合員が107万円をだしています。

波多津漁協関係の真珠養殖従事者は23人ですが、漁業を本職にしています。

作業場を建設したのは、真珠養殖を専門化し、玉入れ作業の分業や集中化をはかって収入の増を図ろうとするものです。

目標は、現在の23人の副業者を専業者30人にし、年間生産額もいまの1,700万円から6,000万円にすることです。

伊万里湾の冬場は、水温が低く、養殖に適しないため、こしは、肥前町晴気と長崎県鷹島島の漁場を借りて避寒させています。

県は、こしから鎮西町波戸に避寒場を設ける計画をたてています。

## 新有権者 感想文募集

- ▷感想文の内容 新有権者としての民主政治とくに選挙にたいする自覚を内容とするもの。標題は自由。
- ▷枚数 200字原こう用紙10枚以内
- ▷応募資格 昭和22年1月1日～23

年12月31日に生まれたかた

▷しめきり 1月31日

▷提出先 東京都中央郵便局区内自治省選挙管理課

▷応募上の注意 住所・氏名・性別・生年月日・職業を明記する。

▷封筒の表に感想文在中を明記する



## 救農土木事業始まる

### 9か所・延べ1万4,000人就労

昨年のかんばつで被害をうけた農家を救うための救農土木事業が始まりました。9か所のうち、すでに12月10日から4か所で始まっています

この事業は、総事業費1,351万円就労延べ人員1万3,929人を予定し減収のひどい農家を対象に、ため池のしゅんせつや堤ぼう補強などの工事に働いてもらい現金収入のみちを構じて救おうというものです。

そのため、各種の水害復旧事業や土地改良・構造改善事業などで賃かせぎが期待されない地域で工事することになっています。

それは、各地で水害復旧工事や公共土木事業がたくさん着工されており、人夫の確保がむずかしくなっているからです。

1日1人当たりの標準賃金は、男900円、女630円で、稼働日数で支払うことになっています。

これらの事業の財源は、国からの借金を当てますからいままでのように地元負担金はありません。

#### 救農土木事業か所と延べ就労人員

- 山代町 立岩 1,670人
- 〃 城 769人
- 東山代町協野 1,656人

- 南波多町井手野 2,566人
- 〃 高瀬 1,094人
- 波多津町内野 998人
- 〃 中山 1,517人
- 黒川町畑川内 1,893人
- 牟田 1,766人



### 救援米32トン到着

干害農家への救援米32トン(540俵)が伊万里市農協へとどきました。

佐賀県農協中央会や各市町村農協など農業団体のおんどで「干害被災農家助けあい運動」が11月に行なわれていたものです。

経営規模によって玄米1.5キログラムから3キログラムの愛の救援米

や現金が県下各農協によせられてきました。

12月9日から13日までに佐賀地区の南川副農協36俵・東与賀農協の35俵をはじめ、神崎・三養基地区の各

農協に集まった救援米502俵が引き取られてきました。

ついで12月26日には、小城地区・佐賀地区や市農協管内などから38俵がとどき、飯米のない被災農家約400戸へ配分されました。

また現金も県農協中央会でとりまとめ、被災農家に配分する予定です

# 大学問題整理にはいる

## 市民に迷惑かけたことをおわびする

12月定例市議会で追加議案として提出した、もと伊万里工業大学敷地の開発を目的とする「立花台地開発事業」関係の議案が可決されました。いままで精力的に調査活動してきた市議会の伊万里市大学対策調査特別委員会は、次のとおり市議会に報告しました。

第一薬科大学について、誘致・財務小委員会が調査した結果、誘致しうる可能性は見出しえない。他の大学誘致についても情報集収・陳情工作をなしたが、有力な大学誘致をなす情勢にないことを確認した。

したがって、現在までの大学誘致に関連した債務や確保されている用地などの整理段階にはいる必要がある、その処置について、市は、大学設置推進委員会とも協議されることを強くのぞむ。

市議会は、大学誘致の、諸問題解決のためには、市民の付託に答えるよう最善の対処を必要と認める。

12月18日に開いた大学設置推進委員会は、委員会代表の名義になっている用地や建物・借入金などすべての財産を市で引き受けるよう、市へ申し入れました。

市は、市議会・推進委員会の意向にもとずいて、旧伊工大敷地を公共用地・市有財産として保全することを目的とした立花台地開発事業特別会計の設置を提案しました。

この敷地は、21万3,000平方メートルもあり、敷地買収時に県信連や市農協から借り入れた1億300万円とその利子700万円・校舎を買うとき佐賀相互銀行から借りた3,200万円など、1億4,000万円が未払いになっているため、推進委員会はその支払いに苦慮していました。

伊万里工大に続いて、第一薬科大学もものぞみがない現在、これを機会に特別会計を設け、推進委員会名義の財産を一応市有財産として確保しようというものです。

山口市長は、本会議で、次のようにのべました。

立花台地は、バイパス線や駅南開発と密接な関係にあり、マスタープランの一つの大きな柱である土地利用計画をたて、公共用地など公共性の高い事業を目的として、この2～3年のうちに解決したい。工場用地にすることは、地形的にみて困難だ具体的なことは、こんご検討する。

地主のかたとは、話しあいをもち相談しなければなるまい。

豊かな町づくり、文化都市にするため、いままで最善の努力を傾注したが、そのころざしとことなり成功しなかった。その失敗を卒直に認め、市議会や関係者に大きな迷惑をかけたことを遺憾に思う。心からおわびする。こんご、市民の付託にこたえるよう努力する。これまで、格



段のご協力をくださった地主のかたに対しても、このような結果になったことをおわびし、こんごの協力をお願いしたい。

特別会計を設けて市が買いとることについて、山口財政課長は、

特別会計を設けても一年で解決できるとは思わない。一般会計でとりあげた場合、売れねば赤字になり、来年度の財政へしわよせされるので特別会計処理の方法をとった。

一般会計で処理して赤字になれば市庁舎や市民会館の建設がむずかしくなる。とって放任すれば、金利がふえることになるので、借入金の利息を軽減するため年次計画で一般会計からくりだすことになろうと答えました。



山代町歩行大会が12月1日、山代中学校から東山代町山ノ寺まで7キロメートルで行なわれました。老人クラブを始め、婦人会、青年団員など150人が参加。7時に出発9時に山頂に到着のあと健康祈

願祭を行ない下山しました。

深江山代公民館長の話「歩行の効果は最低1万歩といわれている。7キロメートル歩けば平均1万歩になる。こんごも実施するので多数の参加をお願いしたい」

市政モニター随時通信

◎土地台帳・図面・名寄帳などは出張所で調べることが多い。名寄帳が本庁にあるため不便だ。このような関係書類は、出張所で保管できないか。

おこたえ 事務上から見れば、名寄帳は本庁で利用することが多く、必要のつど出張所へ電話照会しなければなりません。このため、1事件を処理するのに職員2名が必要で話し通話料など多くの経費がかかります。

土地の異動整理は、本庁職員が、出張所まで出向いて整理しており時間的に能率が上がりません。

また、法務局が波多津町を除いて伊万里に統合されたために土地の異動登記など伊万里でしかできません。このような理由から土地関係書類は本庁に保管し、事務能率の向上を図るために実施したものです。

しかし、本庁に土地台帳などの保管施設ができるまで、台帳は出張所に保管しなければなりません。

【市税務課】

母子家庭に修学資金を貸します

母親の収入だけで生計を維持している経済的に余ゆのない母子家庭の子どもさんが高校や大学に進学するときは、修学資金を貸します。

高校月1,500円・大学月3,000円このほか就学支度資金として自宅通学は、高校1万円・大学1万5,000円下宿などして通学するときは、高校1万5,000円・大学2万5,000円を貸します。

返還は、卒業後半年すえおき、半年賦10年～15年です。

ご希望のかたは、福祉事務所社会児童係へお問い合わせください。しめきりは1月末日までです。

【どい】野犬をなんと

かしてくれ

ちかごろ、野犬捕獲員がこないため野犬の横行がひどい。農作物・家畜だけでなく集金人・配達人・一般歩行者の被害も激増している。

管している保健所は次のように答えています。

捕獲員は、県内に十二人しかいません。伊万里保健所は、県へ捕獲員の常駐を要請していますが実現されていません。

無登録犬の取り締まりはどこがしているのか。

毒殺も考えてはいますが飼犬が死亡したことを考えると実施に苦慮しています。

徹底した野犬対策があるのか。放任するのか。



は必ずつなくよう所有者にお願いしています。

わたくしは、無登録犬の所有者を調査して罰金を科すべきだと思ふ。野犬は、なんらかの方法で殺すか、捕獲員を動員して早く処置せよ。伊万里町一市民

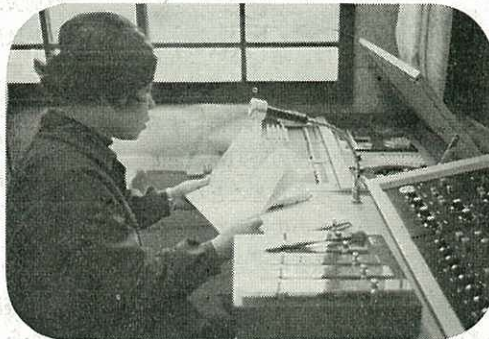
【おこたえ】野犬捕獲を所

た。牧瀬保衛衛生課長

市農協有線放送完成

伊万里市農協の有線放送電話が12月1日から放送を始めました。

いま、すみずみまでゆきとどいた営農指導や広報に活用されています。この電話は、昨年1月から総工費1億8,000万円をかけて工事をいそいでいたものです。



農協組合員へお知らせする放送室

ずさないでください。受話器の寿命をちぢめ、交換機械が故障します。また、その回線(10台)は放送を聞くことができません。

ときによっては、その回線をふくめた隣接の5回線(50台)も聞けないことがあります。

伊万里・松浦・二里支所にあった1,950台と新たに3,250台が設けられました。新設の3,250台はダイヤル式です。今月から電々公社の検査が行われる予定ですから検査が終われば公社線との接続・既設電話との接続もできるようになります。

【農協からお願い】

有放の放送時間中は、受話器をは

農協有線放送番組 市政の動き

市農協と南波多農協の有線放送を通じて、毎週土曜日に市政の動きを放送しています。

放送時間は、あさ6時15分とよる9時15分の2回です。

放送の内容は、市議会のもよ

うや市政の大きな問題を取りあげています。

予防接種なども、お知らせ時間を利用して、随時放送しています。



# 犠牲はわたしだけでたくさんだ

## 交通安全市民総決起大会開く

市・市交通対策協議会・警察署・市交通安全協会主催の交通安全市民総決起大会が、12月1日、伊万里中学校で開かれました。

会場には、各町の代表 800人が集まりました。

激増している市内の交通事故を防止するには、市民総ぐるみによるほかはないという趣旨で開かれたものです。

大会では、交通安全指導育成成功労者の表彰と市民代表の意見・体験発表・大会宣言決議を行ないました。

### 市民代表のことは

(要旨)

二股健氏(交通安全指導員37歳・柳井町)

運転者だけでなく、歩行者も交通ルールを守れ。親は、こどもの通学路の交通事情を研究せよ。

岩崎 治君(子ども代表 12歳・伊万里小6年)

事故原因は、車の直前直後のとびだしが一番多い。道路に駐車しないでほしい。子どもも悪いが、おとなもルールを守ってほしい。

本山澄子氏(婦人代表 46歳・二里町)

横断歩道を除行しないで通る車があるのを見て義憤をおぼえる。いったん停車・除行を励行せよ。

斉藤作治氏(青年代表 21歳・南波多町)

わたくしは、交通違反を2回犯かした。当時は、ばからしく思ったがいまになると警察に捕まったことを感謝している。

お互いが交通に対する良心をもち三つのことば「ありがとう・すみません・どうぞ」を実践すれば、事故はなくなると思う。

勝呂静雄氏(運送業者代表



44歳・西肥バス)

幅のせまい道に駐車しているため事故が多い。場所に応じて、お互いが駐車しないようにすべきだ。

事業所は、車両整備や労務管理に意をそそげ。

井手正人氏(運転者代表 35歳・昭和バス)

歩行者は斜め横断をするな。また右側通行しないものが多い。

前田好雄氏(被害者代表 44歳・南波多町) ▶

### 各家庭で

#### お互いが注意しよう

- ▷ 飲酒運転やめいてい歩行に気をつける
- ▷ 歩行者は、右側通行・横断歩道を正しくわたり斜め横断をしない
- ▷ 車の直前直後の横断や飛びだしをしない。

### 市交通対策協から表彰されたかた

- ▷ 山下徳夫氏(松島町・会社社長)
- ▷ 梶山誠孝氏(新天町・会社社長)
- ▷ 小島満義氏(南波多町・医師)
- ▷ 柳本金寿氏(黒川町・商業)
- ▷ 松瀬 勲氏(二里町・米穀販売業)
- ▷ 原 庄八氏(二里町・商業)
- ▷ 山口美代次氏(木須町・電電公社職員)
- ▷ 二股 健氏(柳井町・商業)
- ▷ 松尾 繁氏(松浦町・西肥バス運転手)
- ▷ 東山代小学校PTA

▼ わたくしは、入院 6か月の事故に会い、今でも後遺症に悩んでいる。また入院中に長男も大事故に会い、いまだに入院している。

運転者のちょっとした不注意が、一家を悲惨な生活においやる。こんな犠牲は、わたくしだけでたくさんだ。運転者の安全運転をお願いする

市竹内助役は、車の直前直後の横断と飲酒運転がなくなれば、事故は大幅に減るはずだ。会合のとき、交通安全を確認する・市民の事故防止監視網をつくるなどの手段を構じたらどうか。43年度から交通傷害保険制度を推進したいとのべ、市民の協力を求めました。

- ▷ 自転車の二人乗り・並進通行・無灯火乗車をしない。
- ▷ スピード違反・ムリな追い越しをしない。
- ▷ 車で外出するときは、十分な時間の余裕をもって出発する。
- ▷ バイクに乗るときは、ヘルメットをつける。

# 建物や学資をプレゼント

## 松尾さんの遺児に九電がカンパ

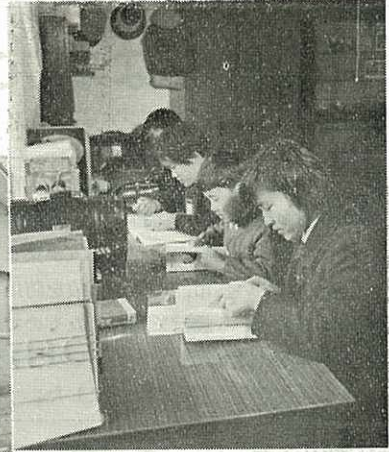
九州電力は、12月8日に昨年7月9日の集中豪雨で殉職した同電力桃川電業所の松尾敏幸さん夫婦の遺児に、従業員のカンパで集めた234万円をプレゼント、歳末に明るい話題をなげかけました。

松尾さんの家族は、脇田町に買っていた分譲住宅に水害当日の7月9日に移るばかりになっていました。しかし、両親が濁流にのまれ、楽しい夢も打ちくだかれてしまいました。

あとに残された範子さん（伊商高2年・17歳）・聖子さん（伊商高1年・15歳）・偉子さん（伊小6年12歳）暁さん（6歳）の4人は、叔父の米田万治さん（75歳）に引きとられ親が残した新しい住宅に8月1日に移転しました。

しかし、父が18年間で償還するつもりで借りた99万円の返済めどがつかず、父親がわりの万治さんは困ってしまいました。

これを聞いた九州電力伊万里営業所の従業員は「松尾さんの遺児を救



おう」と、佐賀支店・佐賀営業所といっしょになって、同電力従業員1万7,000人にカンパを呼びかけました。

その結果、電労連や佐賀地方同盟の友好カンパを含めて総額234万円に達しました。

同電力の鶴丸伊万里営業所長は、松尾さんの命日にあたる8日に、範子さんら4人姉弟に、従業員が拠出したお金を建物返済金と結婚資金や学資にしてくださいと贈りました。

### 親がわりの米田万治さんの話

水害のあと、多くのかたから激励やふとん・洋服などのお見舞いをいただき感謝している。水害直後は、死体捜査、干ばつときは給水などもしてもらった。

上はなかよく勉強する松尾兄弟  
左上は贈られた建物

こんど、気がかりだった建物の返済金やこどもの将来のことが、皆さんの援助で心配もなくなった。

こどもを世のためになるようならばな人間に育てるのが、皆さんに対する恩返しと考え見守ってやりたい。

東山代町こどもクラブ連合会  
（東山代小5年）  
田代旬子  
わたくしの家は、四人家族です。父は、炭鉱の現場監督をしています。母は、曲川の九州タイルに勤めています。それに、おてんばからおうちよこちよいのわた

わたくしは、いつも考えます。弟が家に帰って、「お願いしたい」といっても誰れもないため「おかえりなさい」という元気な母の音がしませんが、このごろは弟は、あまり「ただいま」といわなくなりました。わたくしも同じです。

## こどもの意見

家族のなかでの

わたくしの努力

「お帰えりなさい」といってやりたい弟は、母がいたときのように「ただいま」と元気にいえるだろう。そんなにして、弟をよろこばしてやりたいわたくしはいつも努力しております。

しかしわたくしは姉さんなのです。がまんしなければいけないと思っております。みんながでたあと、母が残したしごとの片付けと戸じまりをするのが、わたくしのあさのつとめです。わたくしは、少しもいやだとは思いません。しかし、わたくしは、こう思うのです。

あさもそうです。母は、七時ごろ、いそいで家を出ます。わたくしは、七時二十分に家を出ますから「いってきます」といっても、「いってらっしゃい」という声がないのです。弟は母より早く帰りますから母やわたくしから「いってらっしゃい」といわれます。弟がうらやましい気がします。

昨年、こども話した大会で入賞したこどもの発表内容です。こどもがどんなことを考えているか、こども教育の参考になりますよ。



### 市内一周駅伝・伊万里町が優勝

12月10日、市・市教委・市体協主催の第14回市内一周駅伝で伊万里町が優勝しました。

当日は、雪やみぞれの降る悪い条件のなかで、浦の崎駅前を、市内8か町の選手8人がスタート、山代～東山代～伊万里～黒川～波多津～南

波多～松浦～伊万里の6区間71.3キロメートルを45人で熱戦を展開しました。

成績

- 1位 伊万里町(4時間3分34秒)
- 2位 山代町(4 13 54)
- 3位 松浦町(4 17 47)

### 伊万里3地区青年団 連合会を結成

12月3日大坪・大川内・牧島の3地区青年団の連合会が結成されました。

各地区とも青年団員が減少し団活動が低調になっています。このため伊万里3地区の青年団がいっしょになり地域の実態に応じた青年団活動を推進するために結成したものです。結成大会は意見発表や元伊万里小学校校長瀬戸貞次先生の話「社会は青年になにを期待しているか」を聞くなどこれからの活動が期待される大会でした。

会長には、犬塚淳氏が選ばれました。

建設課といえば、だれでもすぐ道路を頭に浮かべるほど道路行政が大きな比重を占めています。

市道の路線は、1,031もあり、その延長は、伊万里駅から京都駅までの長さとはほぼ同じで750キロメートルもあります。

国が管理する国道28.21キロメートルと県が管理する県道111.77キロメートルをあわせると市内の道路延長は、890キロメートル以上もあります。

市道のうち、自動車が通れる248キロメートルに幅3メートル・厚さ3センチメートルにじやりを1年に1回敷く経費が2,700万円もかかります。簡易舗装するには8,400万円永久舗装するには2億5,000万円かかります。

このように道路の維持や改良に莫大な金があるため、皆さんからの道路改良についての希望が多くても、少しづつしか改良できません。

市内に橋が700橋あります。このうち市道にかかっている531橋は、市が補修やかけかえをしなければなりません、252橋はまだ木橋です。



### 市民の社会科教室 ⑧

#### 建設課

先月号で説明しましたように、市議会で可決された条例や予算は、市長の指示で実行に移されます。

今月から数回にわたって、建設課など実際に事業をする課を紹介します。

松浦川や伊万里川などの改修は、国や県の仕事ですが、小さな川は市の管理です。市管理の河川延長は59キロメートルになります。

このような市が管理する道路・橋河川は昨年7月の集中豪雨で大きな被害を受けました。そのため建設課の職員は、災害か所の測量や設計・復旧事業の監督などに日夜とくんでいます。

358戸の市営住宅の維持補修と建

設もこの課の仕事です。毎年建設している市営住宅は、住宅難と家賃が手ごろであるため希望者が多く、抽選で入居者を決めています。

同課は、都市計画や港湾関係も担当しています。街路を新設したり、商店街路の舗装や拡張などの場合は用地の買収から工事の監督まで担当しています。

都市公園である国見台公園の整備拡張も受け持っています。

港湾は、県の管理になっていますが、現在工事をすすめている伊万里港改修などに莫大な経費を負担しています。

学校の建物・市営住宅など市有財産になる建物を建てる時は、同課の建築係が設計しています。建設課は、このように広い分野の仕事を受け持っていますが、いままでの技術職員不足は、災害復旧事業がふえたため、一層深刻になりました。しかし人員不足を理由に仕事を放任することはできませんし、建設課の職員は、農林水産課の職員とともに他団体の職員の協力を受け、水害後連日その復旧作業にあたっています。

寒波に備えて水道管の保護を

きびしい寒波がくると、水道管が破れることがありますから次のことにご注意ください。

- ▷水道管はできるだけ地下に埋める
- ▷地下に埋められない管は、なわや布などでまく
- ▷湿気のある土地は排水をよくする
- ▷古くなった鉄管などは取りかえる  
(工事は、市指定の工事店に頼んでください)

▷管が凍った場合、熱い湯をかけるとかえって管が破裂しますから熱い湯をかけない

管が破れ漏水してもメーターがあり高い水道料を支払うことになりまますから、寒波襲来まえに管を保護してください。

戸籍関係届書の様式変る

出生や死亡・婚姻・離婚・死産などの戸籍関係の届書が、全面的に改正され、新しい様式になりました。

いままで、わかりにくい・ムダがおおいなどから市町村は法務省に強く改正を要望していたものです。

記入するとき、わからない点があれば、窓口へ遠慮なくご相談ください。説明します。

戸籍抄本など 1枚50円になる

法の改正で、戸籍手数料が1月1日から改正されました。

- ▷戸籍簿や除籍簿の閲覧  
1戸籍 50円
- ▷受理・不受理の証明、届書の閲覧、戸籍記載事項の証明  
1件 50円
- ▷戸籍・除籍の謄抄本  
1枚 50円

成人式には簡素な服装で出席ください

1月15日は、成人の日です。「おとなになったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ます」ための祝日です。

当日は、10時から伊万里中学校体育館で成人式典と記念行事を行ないます。

新成人の皆さん、式典には、招待券をもって本人が出席してください。

受け付けは、9時半までにすませてください。成人式にふさわしい若々しく簡素な服装で出席してください。

水害被災者の農地被買収者 国庫債券を買い上げます

昨年7月の集中豪雨で大きな被害をうけたかたのなかで農地被買収者国庫債券をお持ちのかたから債券を買い上げることになりました。

対象者は、昨年7月9日の集中豪雨で住宅が半壊以上の被害を受け、又は家財が田畑が5割以上流失埋没などの損害を受けたことを市長が証明した者です。

買い上げ価格は、年6分複利割引きで、その最高額は10万円です。

買い上げ期間は、ことしの3月末までです。市農業委員会事務局は、手続きなどについての相談を受けます。ご希望のかたは、早めに申しこんでください。

(例) 8万円券(ろ号)の買い上げ価格は5万5,900円、10万円券(ろ号)と4万円券(ろ号)は9万7,900円です。

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

▼香典返しを寄付

- 香万五千元 宝蔵寺秀男 (立花町富士町 亡母リン)
- 壹万円 岡野純雄(東山 代町大久保 亡妻サン)
- 五千元 古川栄四(山代 町楠久 亡母ハヤ)
- 五千元 門司丹助(本町 一丁目 亡妻ツマ)
- 壹万円 松尾善一(松浦 町桃川 亡母フテ)

- 壹万円 市川一磨(大川 内町市山 亡母スマ)
- 壹万円 田中 弘(黒川 町福田 亡母ハル)
- 五千元 前田勇吉(山代 町楠久津 亡父輝造)
- 壹万円 田代 彰(大川 町戸石川 亡母ミキ)
- 五千元 浦川鉄次(二里 町川東 亡母イソ)
- 壹万円 古賀弘子(上松 島町 亡夫晃)
- 壹万円 石田満次(下松 島町 亡長男金之)
- 五千元 石橋芳恵(相生 町 亡夫)
- 壹万円 奥村清(山代町楠久炭鉱 亡父作市)
- ▼篤志寄付
- 参百元 匿名(牛込局消印)
- 五百円 匿名(伊万里局消印)
- 壹万貳千元 樋渡一孝 (大坪町下古賀 給水器借り上げ料を寄付、うち六千円を市母子連盟に指定)
- ▼教育振興奨励基金へ
- ▼香典返しを寄付
- 五千元 門司丹助(本町 一丁目 亡妻ツマ)
- 参千元 八重木茂一(黒川町椿原 亡母テイ)
- 参千元 田中敏春(波多津町浦 亡父保)
- 壹万円 中島 淳(大坪町下古賀 亡母シメ)
- 貳万円 松永貞市(山代町浦の崎 亡父城七)
- 貳千元 黒川洋一郎(山代町町東分 亡祖父八百吉)
- 壹万円 山下国雄(立花町西円造寺 亡母カノ)
- ▼篤志寄付
- 参万円 松尾酒造場松尾文次(西有田町 給水器借り上げ料を寄付)
- ▼市庁舎建設基金へ
- ▼香典返しを寄付
- 壹万円 堤隆三 (松浦町梅岩 亡母チト)
- ▼市民会館建設基金へ
- ▼香典返しを寄付
- 壹万円 池田德行(立花町四〇八一 亡母ツル)
- ▼篤志寄付
- 参千元 川原鶴次(松島町)
- ▼市交通対策協議会へ
- ▼香典返しを寄付
- 壹万七千元 池田精一 (柳井町 亡父政一)
- (昭42・12・20現在)

